

王滝村 GIGA 端末 整備・更新計画書

1. はじめに

本計画書は、義務教育における GIGA スクール構想の実現に向け、児童一人一台端末環境を継続的に整備・維持していくための「端末整備・更新計画」を定めるものである。長野県の共同調達の枠組みに参加し、王滝村の実情に合わせた形で、効率的かつ効果的な端末環境の構築を目指す。

2. 基本方針

【公平な教育機会の保障】

全ての児童が ICT を活用した個別最適化された学び、協働的な学びを享受できる環境を保障する。

【安定した学習環境の提供】

端末の安定稼働と継続的な更新により、児童の学習活動に支障をきたさない環境を維持する。

【持続可能な運用体制の構築】

限られた予算と人員の中で、効率的な端末の管理・運用・保守体制を確立する。

【共同調達のメリット最大化】

長野県との連携による共同調達を継続し、コスト削減と事務負担の軽減を図る。

3. 現状と課題

(1) 端末配備状況:

- GIGA スクール構想に基づき、小学校の全児童に対し一人一台端末 (Ipad) を配備済み。
- 教員用端末も整備済み。

(2) 通信環境:

- 各学校に無線 LAN 環境が整備されており、インターネット接続が可能。
- 校内 LAN 整備状況については、定期的な点検と必要に応じた増強が課題。

(3) 教員の ICT 活用能力:

- GIGA 端末導入以降、研修等を通じて教員の ICT 活用能力は向上しているものの、更なる活用促進のための継続的な支援が必要。

(4) 課題:

- 導入済端末の経年劣化と次期更新時期の検討。
- 端末故障時の迅速な修理・交換体制の確立。
- 情報セキュリティ対策の継続的な強化。
- 王滝村独自の少人数教育における GIGA 端末の活用モデルの確立。

4. 端末整備・更新計画

(1) 端末の耐用年数と更新サイクル

- ・ 児童用端末: 導入から原則 5 年程度を耐用年数とし、計画的な更新を行う。
- ・ 教員用端末: 児童用端末と同様、原則 5 年程度を耐用年数とし、計画的な更新を行う。

(2) 更新時の機種選定方針

- ・ 学習の利便性: 児童が直感的かつ容易に操作でき、多様な学習活動に対応できる機種を選定する。
- ・ 互換性: 既存の学習コンテンツやシステムとの互換性を確保する。
- ・ 堅牢性・耐久性: 学校での利用環境を考慮し、破損しにくい堅牢な機種を選定する。
- ・ 管理のしやすさ: 一括管理システム (MDM) との連携が容易な機種を選定する。
- ・ コストパフォーマンス: 予算内で最大限の効果が得られるよう、価格と性能のバランスを考慮する。
- ・ 王滝村の特性: 少人数の学級運営に適した機能や、村内の自然環境等を活用した学習との親和性を考慮に入れる場合がある。

(3) 共同調達の継続

- ・ 長野県の共同調達に参加する。
- ・ 共同調達によるスケールメリットを最大限に活かし、端末単価の低減と調達事務の効率化を図る。
- ・ 共同調達の仕様検討会議には、王滝村からも担当者が出席し、村の実情を反映させるよう努める。

(4) 整備・更新スケジュール

令和 7 年度

- ・ 小学校児童用端末の老朽化に伴う試行的な更新、または次期更新に向けた準備 (長野県の共同調達 WG 参加・仕様検討、予算要求)

令和 8 年度

- ・ 小学校児童用 全端末を更新 (共同調達による実施)

令和 13 年度以降

- ・ 5 年サイクルでの計画的な更新を実施

※上記は一例であり、予算状況や端末の劣化状況に応じて柔軟に見直す。

5. 運用・保守計画

(1) 端末管理

- ・ MDM (Mobile Device Management) の活用: 引き続き MDM を最大限に活用し、端末の一括設定、アプリケーション配信、セキュリティ管理等を効率的に行う。
- ・ アカウント管理: 児童の卒業・入学に伴うアカウントの作成・削除を計画的に実施する。
- ・ 資産管理: 端末の個別識別番号等を適切に管理し、紛失・盗難時の追跡や資産状況の把握を行う。

(2) 故障対応・修理体制

- ・ 一次対応: 各学校の ICT 担当教員または支援員が、簡易な故障（ソフトウェアトラブル等）の一次対応を行う。
- ・ 二次対応: 修理が必要な場合は、共同調達契約に基づき、納入業者または指定修理業者に依頼する。
- ・ 代替機: 故障修理中の児童への学習機会を保障するため、各学校に一定数の代替機を常備する。共同調達の際に、代替機提供サービスについても検討する。

(3) セキュリティ対策

- ・ フィルタリング: 有害サイトへのアクセスを制限するフィルタリングソフトを導入・継続する。
- ・ OS・ソフトウェアのアップデート: 定期的な OS や各種ソフトウェアのアップデートを実施し、常に最新のセキュリティ状態を維持する。
- ・ 情報モラル教育: 児童への情報モラル教育を継続的に実施し、安全な端末利用を促進する。

(4) 教員研修

- ・ ICT 支援員との連携: 引き続き ICT 支援員を配置し、各学校での ICT 活用に関する教員への個別支援や研修を行う。
- ・ 活用事例の共有: 先進事例や効果的な活用方法を共有する場を設け、教員全体の ICT 活用能力向上を図る。
- ・ 新機能・新アプリケーションの習得支援: 新しい端末やアプリケーションが導入された際には、速やかに操作研修等を実施する。

6. 予算計画

- ・ 端末の購入費用、MDM 利用料、保守・修理費用、ICT 支援員派遣費用等を毎年予算要求し、安定的かつ継続的な GIGA 端末環境の維持に努める。
- ・ 共同調達によるコストメリットを最大限に活かしつつ、国や県の補助金制度を積極的に活用する。

7. 評価と見直し

- ・ 本計画は、GIGA 端末の利用状況、児童・教員の意見、技術動向、国の動向、予算状況等を踏まえ、毎年見直しを行う。
- ・ 特に、王滝村の少人数教育や地域特性を踏まえた活用状況を定期的に評価し、計画にフィードバックする。

8. その他

- ・ 家庭との連携: 家庭での端末利用ルールや、トラブル発生時の連絡体制について、保護者と学校との連携を密にする。
- ・ 地域との連携: 必要に応じて地域の ICT 関係者や専門家との連携を検討する。